

都市再生整備計画 事後評価シート
大曲駅周辺地区

平成23年3月

秋田県 大仙市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	秋田県		市町村名	大仙市		地区名	大曲駅周辺地区		面積	100ha			
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	3,091.8百万円	国費率	0.409				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
	基幹事業		駅東16線、福田西線、しあわせ公園、地域交流センター、大曲駅前第二地区土地区画整理事業										
	提案事業		排水路整備(井戸堰水路)、大曲駅前第二地区土地区画整理事業、まちづくり協議会										
			事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	当初計画から削除した事業	基幹事業	(仮) 駅東第2駐車場		事業全体の見直しを行った際、まちづくり協議会において当該事業の優先順位が低かったことを受けて事業を中止した			指標1の満足度に関係あるが、数値目標は据え置く					
		提案事業	-		-			-					
新たに追加した事業	基幹事業	-		-			-						
	提案事業	事業効果分析		主要事業のモニタリングとして追加			影響なし						
交付期間の変更		当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
		変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	生活環境の満足度	%	47	H17	56	H22	-	62	○	あり なし	目標値を上回る高い評価値が得られたのは、土地区画整理事業や地域交流センター及びしあわせ公園の整備により、当該地区の基盤が整備され地域交流の場が創出されることに対する地域住民の期待の表れから満足度が向上したと考えられる。	平成23年10月
	指標2	駅東地区における定住人口	人	2,523	H17	2,723	H22	-	2,674	△	あり なし	目標未達成要因として、大仙市の人口減少や区画整理事業による一時移転等が考えられるが、市全体が人口減少にあるなか当該地区については定住人口が年々増加しており、当該事業を活用した効果は発現していると思われる。	平成23年9月
指標3	駅自由通路の通行者数	人/日	840	H17	924	H22	1,368	1,532	○	あり なし	道路整備や土地区画整理事業を行い駅東地区の基盤を整備したことにより、飲食店・ショッピングモール等を建設され良好な住環境が形成されたことから大曲駅を挟んで東西間の交流が活発化している。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み				
その他の数値指標1	駅東地区の世帯数	世帯	1,015	H17	/	/	1,072	1,116	/	/	道路整備や土地区画整理事業を行い、駅東地区の基盤を整備したことにより、定住しやすい住環境が整ったことによる事業効果と考えられる。	平成23年9月	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・駅東16号線が整備されたことにより、ショッピングモールへのアクセスが良くなり交通の利便性が向上したという声が寄せられた。 ・幸町周辺について、道路が整備されアパートなどの建設が進み町並みが明るくなったことから、若者が多く居住しており活気があるとの声が寄せられた。 ・道路整備により、歩車道が分離されたことで大曲小学校や花館小学校へ通学する児童の安全性が向上した。 ・土地区画整理事業により、道路網や宅地が形成されたことにより、良好な住環境が創出され、車を利用しない住民にとっても住みやすい環境が形成された。 												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況			今後の対応方針等			
	モニタリング	まちづくり協議会を継続的に開催し、毎年事業成果について評価や事業の進め方の改善等を行うためのモニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた			●		まちづくり協議会と事業の進め方や改善策等について意見交換を行い、大曲駅周辺地区の魅力と活力のあるまちづくり活動を進めて行く。		
		事業の進捗を踏まえ中間時点での効果発現状況を確認するために、都市再生整備計画の指標に定めている「駅自由通路の通行者数」に係る駅東西自由通路通行量モニタリング調査				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●				
	住民参加プロセス	地域住民と一体となり目標に向けて確実な効果をあげるため、事業説明や意見交換等を行うためまちづくり協議会を継続的に開催				都市再生整備計画に記載し、実施できた			●		当該事業が円滑に進むよう、施工管理及びスケジュール管理等を徹底して行い事業の推進に努める。		
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			●						
持続的なまちづくり体制の構築	当該事業により発足した「まちづくり協議会」が、事業終了後も大曲駅周辺地区のまちづくり活動を継続				都市再生整備計画に記載し、実施できた			●		本事業によりハード的な交流空間は整ったことから、今後は事業後の評価をまちづくり協議会で行いながら、交流空間の最大活用を目指してソフト的な取組みを充実し、行政と地域住民が一体となった協働のまちづくりを進めて行く。			
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●					

様式2-2 地区の概要

大曲駅周辺地区(秋田県大曲市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標：駅東西のバランスのとれたまちづくりによる中心市街地のにぎわい再生と魅力の向上 目標1：駅西地区において、魅力ある街並み形成により中心市街地のにぎわい再生を図る。 目標2：駅東地区において、生活基盤施設の整備により住環境を向上し定住化促進を図る。 目標3：駅周辺において、交通結節機能の強化により利便性向上を図る。	生活環境の満足度	単位：%	47 H17	56 H22	62 H22
	駅東地区における定住人口	単位：人	2,523 H17	2,723 H22	2,674 H22
	駅自由通路の通行者数	単位：人/日	840 H17	924 H22	1,532 H22
	駅東地区の世帯数	単位：世帯	1,015 H17		1,116 H22

駅前16号線

施工前 (Before construction) / 施工後 (After construction)

土地区画整理事業による区画道路整備

施工前 (Before construction) / 施工後 (After construction)

まちづくり協議会の様子

地域交流センター整備

施行前 (Before construction) / 施行後 (After construction)

区域設定の理由
 にぎわいの再生を図る大曲駅を中心に形成された中心市街地と、駅東側の宅地開発が進行し課題の生じている地区を含む区域

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 駅西地区において、狭隘道路が多数存在し安全性に問題があったが、大曲駅前第二地区土地区画整理事業により、道路網や宅地が整備され安全で良好な市街地が形成されている。また、当事業により、良好な住環境が整備され定住人口が年々増加していることから、駅前利用者の増加や商店街のにぎわい再生に大きく寄与していくと思われる。今後は、イベント時の駅前利用について、駅西口と連携した駅東口の有効活用が求められる。 駅東地区の宅地開発が進む中、生活道路等の基盤施設整備の立ち後れが課題であったが、道路事業や大曲駅前第二地区土地区画整理事業により、道路網が整備され快適な交通空間が形成された。一方、当事業により整備した福田西線の延長方向に更に宅地化が進んでおり、更なる利便性の向上が求められる。 しあわせ公園整備や地域交流センターの整備により、課題であった駅東地区におけるコミュニティ施設不足が解消され、市民交流・会合の場が創出される。また、災害時の緊急避難場所としても活用が可能となる。一方、地域交流センターの夜間利用時における光や騒音について近隣住民への影響の軽減が求められる。 駅東地区の宅地開発が進む中、バイパスへのアクセス方法が少ない状況であり、歩行者の安全確保が課題となっていたが、幹線道路を整備した事により、バイパスへのアクセス性や利便性が向上した。今後は、より快適な幹線道路にするため地区計画に則った道路網の整備が求められる。また、大きな排水路である井戸堰水路については、周辺の宅地利用促進に伴い人の立ち入り等を防止する安全対策が課題となっている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺のさらなる賑わいの創出と魅力あるまちづくりを推進するため、大曲駅前第二地区土地区画整理事業により整備された仮換地等の活用方法について、検討会の開催及び個別相談会を実施する。 商店街の賑わいを再生するために、まちづくり協議会活動の支援、商店街等に対する支援事業の活用促進及び東西間交流活性化に関するワークショップ等を開催し、官民が一体となった協働のまちづくりを推進する。 車を利用しない人や高齢者等の誰もが気軽に利用できるように、駅西地区や大花都市再生住宅から、駅東地区の地域交流センター、しあわせ公園を経由して運行する巡回バス等を検討する。 宅地開発による定住化を推進するため、地区計画に沿った効率的な道路網整備の検討及び、宅地開発の進捗に伴う福田西線の残区間の整備を検討する。 駅東地区の宅地利用促進及び定住人口の増加に伴い、歩行者交通量が増加しているため、駅東16号線や福田西線について標識の設置・交通規制等により歩行者の安全性を確保する。また、地区内を横断している排水路(井戸堰水路)についても、立入禁止柵等の設置を行い安全対策を図る。 駅東口について、駅東西のイベント時におけるシャトルバスやタクシープール及び駐車場整備等による駅東口の活用方法を検討し、駅東西のバランスのとれたまちづくりを推進する。 地域交流センター利用者時の光や騒音等が、近隣住民の生活に影響を及ぼすことのないよう、施設利用者に対し施設利用のマナーやルールの周知徹底を図る。